

令和4年度 第3回 七飯町公営企業経営審議会

| | |
|-----------------------------|--|
| 開催日時及び場所 | 令和4年9月21日（水） 視 察 午後1時30分～午後3時30分 大沼下水浄化センターほか 審議会 午後3時30分～午後5時00分 七飯町役場201会議室 |
| 委 員 (委員数 7名) (出席数 7名) | 会 長 堀 田 市 雄 (七飯町町内会連合会 会長) 出席 副会長 河 村 早 織 (行革推進委員) 出席 委 員 奥 寺 文 子 (七飯町社会福祉協議会 副会長) 出席 委 員 川 又 修 治 (七飯町商工会 会長) 出席 委 員 富 岡 秀 廣 (北海道税理士会函館支部指導研修部長) 出席 委 員 村 瀬 克 己 (七飯町身体障害者福祉協会 事務局長) 出席 委 員 山 川 俊 郎 (七飯町教育委員) 出席 <p style="text-align: right;">※会長、副会長を除いて50音順、敬称略</p> |
| 会 議 内 容 | 1 開会 2 決算書の読み方 3 七飯町水道事業会計の将来予測 4 その他 5 閉会 |

委員会からの意見等

1. 七飯町水道事業会計の将来予測に対する意見

- 1 今後、人口が減少する予測の中で、水道料金の改定は必要。しかし、下水道事業改定を今年度実施し、来年度すぐ水道料金改定というのは町民生活を考えると厳しいのではないか。
- 2 七飯町の人口予測が増加に転じることや費用の大幅圧縮など激的に経営状況が好転することは考え難い。次年度にでも値上げすべき。
- 3 健全経営維持のためにはすぐにでも料金改定に着手すべき。
- 4 人口の減少による給水収益の減少により、今後赤字になることも予想されている。下水道事業のように一般会計繰入金に頼るような経営にならないよう、早急な対応が必要。また、今回策定する水道ビジョンにも定期的見直しの実施について明記すべき。
- 5 次回、改定について議論する中で近隣市町の水道料金体系について確認したい。
- 6 具体的な料金改定案と収支見通しを提示願う。それをもとに改定に向け議論したい。

2. その他意見・質疑応答

- 1 各施設を視察して、大沼地区の特定環境下水道に費用を要することが理解できた。令和4年度の料金改定では到底賄えないのではないか。

(回答) 前回答申の中で下水道使用料見直しについては3～5年ごとの見直しを実施するよう明記されている。今後も継続して審議会に決算状況等を説明し、意見を諮っていきたい。また、大沼浄化センターの更新時期が近づく中で施設更新以外の方法についても検討を行っている。